

小平市みどりの基本計画 2010（令和 2 年度末実績）の概要について

1 計画期間

平成 22 年 4 月から令和 3 年 3 月までの 11 年間

※計画期間を 1 年間延伸。

2 実績報告の概要

(1) 実績報告の趣旨

基本計画では、計画期間である 11 年間に、優先的かつ重点的に取り組む、もって全体施策をけん引していくために 25 の重点施策を設定している。そこで、水と緑のまちづくりの目標「やさしく歩ける水と緑の美しいまち」の実現に向けた施策の推進力を高めていくため、重点施策の進捗状況を毎年把握することとした。計画期間が終了したことに伴い、計画期間内の重点施策の実施内容と評価結果をとりまとめた。

(2) 施策方針の実績

計画期間内において、水と緑のまちづくりの目標を実現するための 5 つの施策方針において進めてきた取組の実績は以下のとおりとなる。

①みどりを切れ目なくつなぐ

みどりの骨格である小平グリーンロードやその周辺のみどりの保全を重点的に行ったほか、道路や公共施設の緑化、公園や用水路の整備・再整備を実施した。

②みどりを次世代に引き継ぐ

玉川上水沿いの樹林地の特別緑地保全地区への新規指定、公有地化及びこだいら名木百選事業等の実施によるみどりの保全に取り組んだほか、新堀用水においてのり面（胎内掘）保全工事を実施するなど、小平のみどりを残す施策を進めた。

③どこからでもみどりが見える

市民に身近なみどりとして、街路樹による道路の緑化や公園のリニューアルを実施したほか、ボランティアによる花壇の植栽や児童による樹林等への植樹を行うなど、みどりのまちづくりを進めた。

④質の高いみどりを育てる

市内の樹林地では萌芽更新による若返りに取り組んだほか、森のカルテづくりを実施し、雑木林の保全や活用、再生手法について検討しました。

また、市内の緑道や公園において、質の向上のため、植生改良を実施した。

⑤みどりを市民が支える

市民と協力してみどりのまちづくりを進めていくため、こだいらグリーンフェスティバル内にみどりの相談所を開設したほか、公園等アダプト制度を導入するなど、市民がみどりに関わるができる仕組みづくりを行なった。

(3) 重点施策の評価結果

計画期間内に取り組んだ25の重点施策の評価の概要と主な実施内容について、下表にとおりとなる。点検結果に応じてS、A、B、Cに置き換えて評価している。

表1 重点施策の評価結果の概要

| 点検結果 | 評価 | 令和2年度末評価 |
|-----------------|----|----------|
| ①順調に成果が上がった | S | 10施策 |
| ②一定の成果が上がった | A | 7施策 |
| ③一部の成果が上がった | B | 3施策 |
| ④見込んだ成果が上がらなかった | C | 5施策 |

表2 重点施策の主な実施内容

| 施策方針 | 重点施策 | 主な実施内容 | 評価 |
|---------------|--------------------|--|----|
| ①みどりを切れ目なくつなぐ | 1-1 新みどりの骨格づくり | あかしあ通りグリーンロード化基本計画に基づき、公園、用水路の整備を実施 | A |
| | 1-2 樹林地の重点保全 | 玉川上水沿いの樹林地の特別緑地保全地区へ新規指定 | S |
| | 1-3 小平ふるさと公園づくり | 大規模公園のリニューアルとして、公園のバリアフリー化等を実施 | S |
| | 1-4 用水路の再整備 | 用水路の親水整備や用水路沿いの公園整備を実施 | S |
| | 1-5 公共施設の重点緑化 | 街路や公共施設への植栽を実施 | A |
| | 1-6 オープンガーデンの推進と連携 | こだいら環境まちづくり協会において、小平グリーンロード&オープンガーデンマップを作成 | B |
| ②みどりを次世代に引き継ぐ | 2-1 特別緑地保全地区等の指定 | 玉川上水沿いの樹林地の特別緑地保全地区への新規指定 | S |
| | 2-2 市民緑地制度の運用 | 市民緑地認定制度の制度適用に向けた研究 | C |
| | 2-3 保存樹林等の新規適用 | 保存樹林・保存竹林制度等の継続運用と制度改善 | A |
| | 2-4 屋敷林の保存手法の検討 | 屋敷林の保存手法の検討 | C |
| | 2-5 郷土景観保全施策の検討 | 地区まちづくりセミナーの開催 | C |
| | 2-6 小平の名木の剪定と育成 | こだいら名木百選の指定及び剪定補助制度による育成支援 | S |

| | | | |
|------------------------|---------------------|--------------------------------------|---|
| ③ どこからでも みどりが見える | 3-1 身近なビオトープづくり | 身近なビオトープについてのリーフレットを作成 | S |
| | 3-2 公園いきいきリニューアル | 小規模公園リニューアルとして、ベンチの交換等により休憩機能の改善 | S |
| | 3-3 花とみどりの公共施設づくり | 市民ボランティア等による公園の花植え活動の実施 緑のカーテンの設置 | S |
| | 3-4 みどりの学校づくり | 学校教育に活用できる緑化の整備 生垣による緑化 | A |
| | 3-5 都市計画公園の整備促進 | 鎌倉公園整備基本計画の策定 | A |
| ④ 質の高い みどりを育てる | 4-1 市民による森のカルテづくり | 市民との協働による森のカルテづくりの実施 | S |
| | 4-2 雑木林のクオリティアップ | 特別緑地保全地区や保存樹林において、萌芽更新による若返りの取組を実施 | A |
| | 4-3 みどりのクオリティアップ | 公共施設における植生管理ガイドブックの活用 | A |
| | 4-4 みどりのリサイクルの推進 | 剪定枝のチップ化によるリサイクルの推進 | B |
| ⑤ みどりを市民が支える | 5-1 市民連絡協議会等の設立支援 | 運営委員会との連携によるこだいらグリーンフェスティバルの開催 | C |
| | 5-2 みどりのアダプトシステム | 公園等アダプト制度の導入 | S |
| | 5-3 みどりづくり市民提案システム | ボランティアの発案による公園の花植えを実施 | C |
| | 5-4 みどりのまちづくり相談システム | みどりの相談所での相談業務の実施 | B |

(4) 実績報告のまとめ

平成22年度から令和2年度までの計画期間において、水と緑のまちづくりの目標の実現に向けた施策に取り組み、重点施策25施策中20施策でB評価以上となり、水と緑のまちづくりに関する取組を進めることができた。一方で、基本計画の目標値として設定した緑被率34%(平成18(2006)年測定)の維持については、29.2%(平成29(2017)年測定)と低下しており、失われていくみどりをいかに保全していくかが課題となっている。

今後は、本年度からスタートした小平市第三次みどりの基本計画において、新たにみどり率29.6%(平成29(2017)年測定)の維持を目標に位置づけ、引き続きみどりのまちづくりに関する施策を展開し、小平のみどりを維持し保全を図っていく。